

# 真庭を題材にしたエスパス合唱団20周年記念合唱曲の制作

## エスパス合唱団20周年事業実行委員会

### 活動の目的

エスパス合唱団は、真庭市久世エスパスセンターを活動拠点に2001年に設立された真庭市内で唯一の混声合唱団で、少年少女合唱団もある合唱団です。定期的な発表の場として、年1回の定期演奏会のほか、県北合唱フェスティバルや、エスパス第九演奏会等に出演するなど積極的な活動を展開しています。現状は、少年少女合唱団も含め、56名が在籍していますが、混声合唱団は、団員の高齢化も進んでおり新たな合唱愛好者を増やすことが重要課題となっています。また、市内には、ほかにもコーラスグループ等がありますが、団体間の交流が十分に行われているという状況にはありません。加えて現状は、真庭に住む人たちが故郷を愛し、思い入れを持って歌うことができる合唱曲がありません。

そこで、エスパス合唱団が設立20周年を迎えるにあたり、真庭を題材にした合唱曲を制作します。そしてこの合唱曲を市内の他の合唱団やコーラスグループ等にも公開し、長く歌い続けられる曲に育てていきます。これにより、真庭の音楽文化の向上を目指します。

### 活動の内容及び経過

2020年度の活動は、岡山ゆかりの作曲家、山中千佳子氏に真庭を題材にした合唱曲の制作を委嘱し、完成させることを最大の目標として設定しました。合唱曲の制作にあたっては、一方通行にしないため、実行委員会が制作の最初の段階から積極的にかかわりを持つ計画とし、東京都在住の山中氏に真庭に来ていただいて真庭の自然や文化を体感してもらい、実行委員会等との意見交換により想いを伝えて曲作りに活かしてもらうよう計画していました。

しかし、昨年来のコロナウィルスの感染拡大の影響で、真庭に来ていただくことが困難となったため、代替措置として真庭に関する書籍や資料を提供し、またオンラインによる実行委員会メンバーとの意見交換を実施しました。

それでも、当初予定していた年度末の合唱曲の完成が困難なため、延期を申請し2021年6月に合唱曲が完成します。

合唱曲は6月6日に延期して開催予定の定期演奏会の中で受け渡しをし、入場者にも経過報告等により、活動の周知と音楽文化の向上に資することとします。

### 活動の成果・効果

本事業により、エスパス合唱団員の意識の向上が図れていると実感しており、今後の団員を増加させ、より市民に愛される合唱団を目指す活動を行う上での礎になっていると感じます。また、真庭を題材にした合唱曲が完成することにより、故郷を愛し、大切にすることを育て、持ち続けることの大切さ



エスパス合唱団

を真庭市民に訴えかけていけると確信しています。

加えて、この記念合唱曲を、市内の他の合唱団やコーラスグループ等にも公開し、永く歌い続けられる曲に育てていくよう計画しており、他の合唱団やコーラスグループ等に事前に働き掛けしたところでは、今後の連携等に前向きな意見が多く聞かれています。実質は2021年度の活動になりますが、これについても期待が持てる状況になっています。

こうした状況を踏まえ、この事業を広く広報し、参加を呼び掛けることにより、合唱愛好者を増加させ、真庭市全体で合唱活動を活性化するとともに、合唱団やコーラスグループ同士の連携を強化していけるものと考えています。

### 今後の課題と問題点

活動の目的の項目でも述べましたが、エスパス合唱団のうち、混声合唱団は、団員の高齢化も進んでおり、市内の他の合唱団やコーラスグループ等も同じような状況にあります。また、少年少女合唱団も併せて新たな合唱愛好者を増やしていくことが重要課題です。

真庭の音楽文化の向上には、記念合唱曲が一つの契機になると確信をしていますが、そのためにもこの曲が多くの人に愛され、永く歌い継がれていく環境を確保していくことも必要です。

一方、2020年度の活動を進めていくうえで、コロナウィルスの感染拡大は非常に多くの困難を伴いました。歌を歌うことが感染拡大の要因として指摘され、エスパス合唱団も一時期練習を見合わせるという事態に直面しました。練習は夏ごろには再開しましたが、再開に際しては、マスクを着用しつつ団員相互の距離を確保するなどの感染対策を施しました。また、作曲を委嘱した山中氏との意見交換もやむを得ずオンラインでの意見交換に変更しましたが、こうしたツールの活用も重要な課題となりそうです。

- 代表者：鈴木英子 ●所在地：真庭市銅屋
- TEL：0867-42-7000 ●E-MAIL：akihiro\_ikeda@iki-iki.or.jp
- 設立年：2001年 ●メンバー数：56名